

8. 景觀

金山ダム周辺の景観の概況①

金山ダム周辺の状況



金山ダム周辺の景観の概況②

金山ダム周辺の状況

H30(2018).9.27撮影

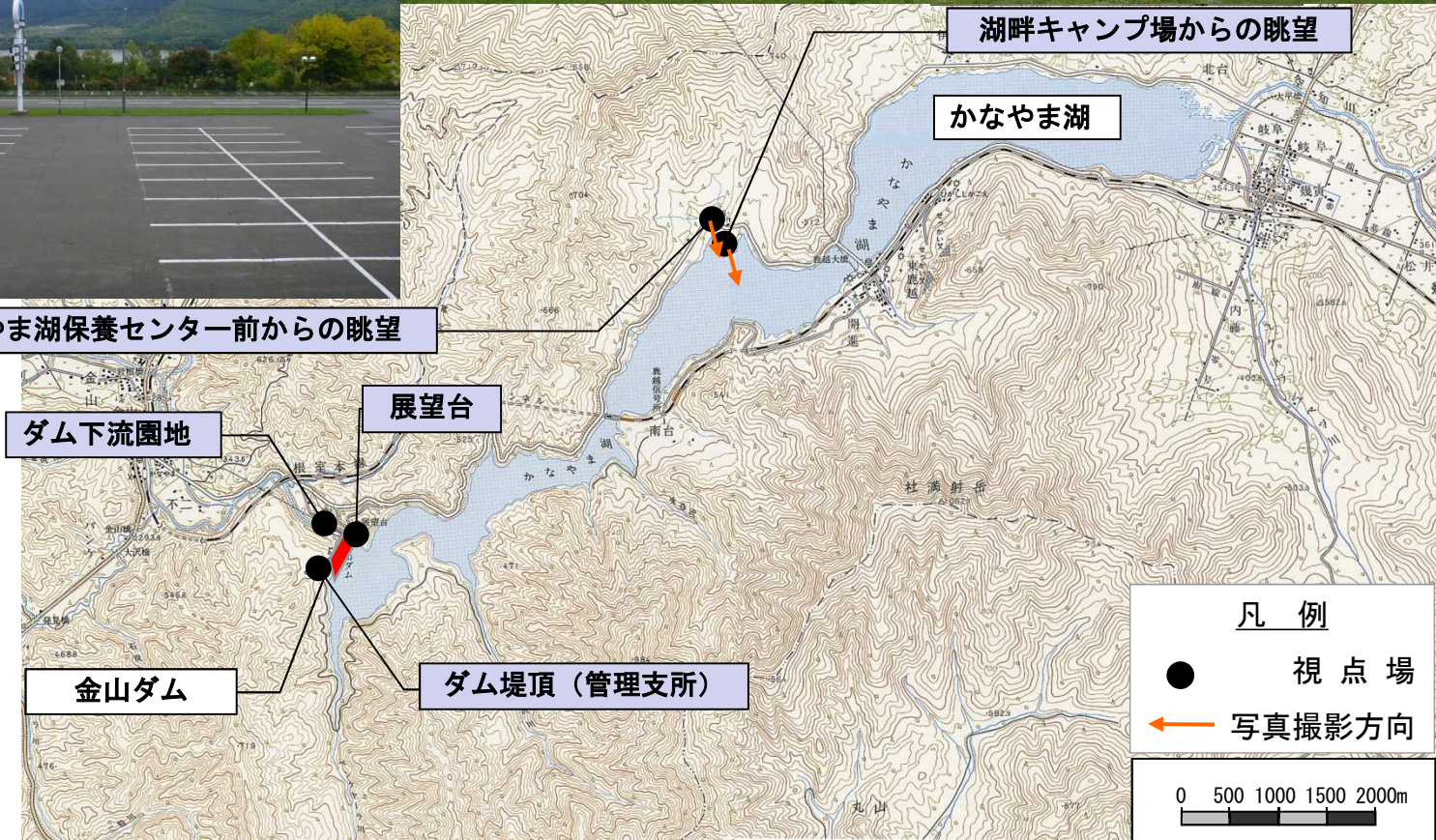
H30(2018).9.27撮影



かなやま湖保養センター前からの眺望

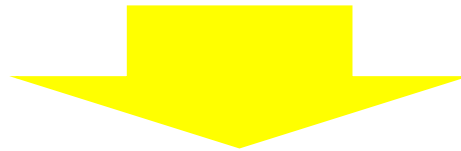


湖畔キャンプ場からの眺望



ダム周辺の景観の特徴

- 金山ダムを含む空知川上流域は、豊かな森林に恵まれた山間部から、幾寅地区、金山ダムを経て、流域の中心である富良野市が位置する富良野盆地へ流れる急流河川となっている。
- 金山ダム周辺は、ミズナラ群落等の落葉広葉樹林やカラマツ植林からなる樹林地が広がり、ダムの下流や流入河川沿いにはヤナギ高木林等が分布している
- ダム湖上流部左岸側には、国営富良野スキー場があり、ダム湖中流部右岸側には、道内屈指のオートキャンプ場やログホテル、鹿越園地ラベンダー園やエジンバラ公の森公園等が整備されている。

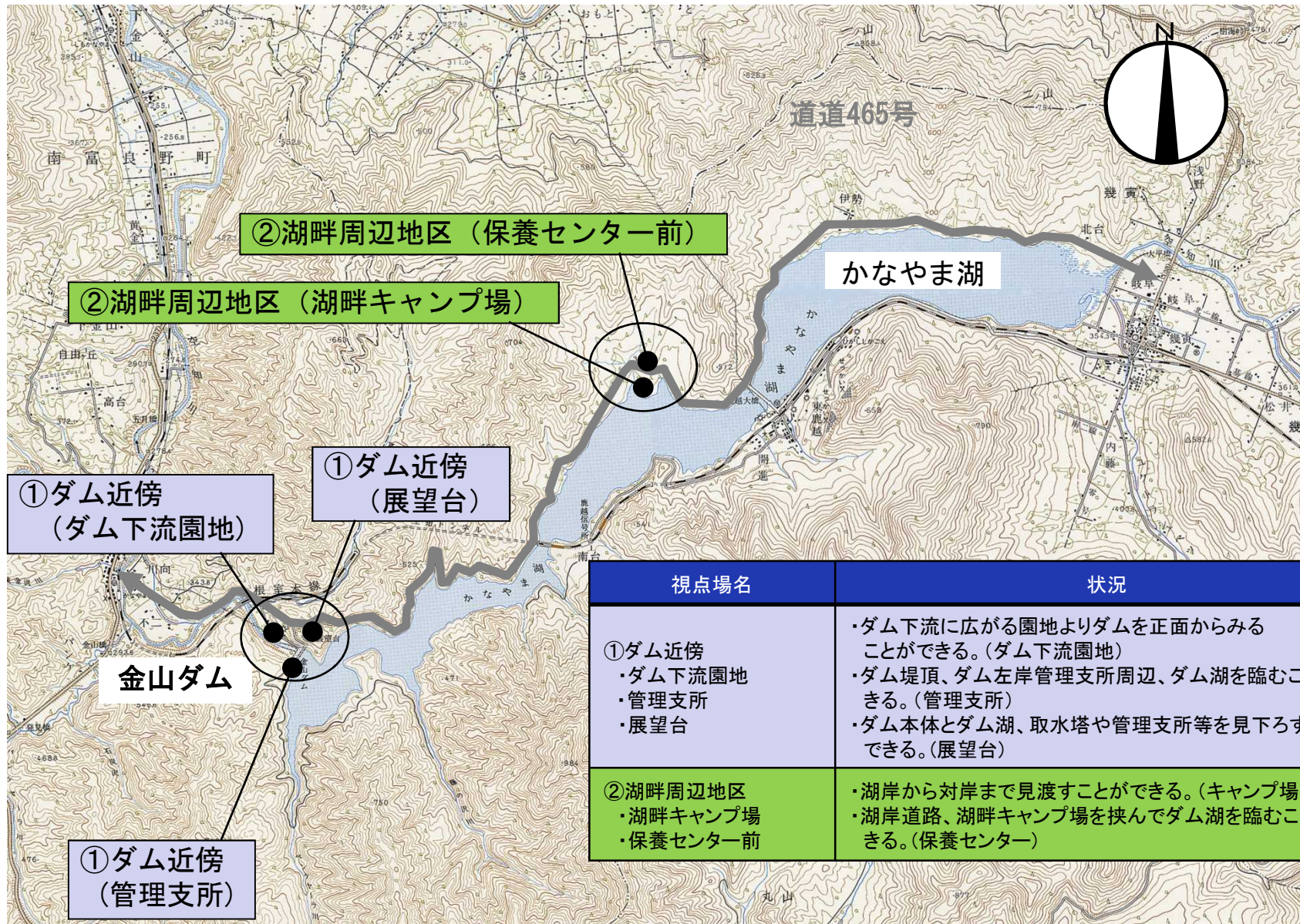


地域の景観資源

「緩やかで開放的な、自然豊かなダム湖景観」

「ダム湖岸に点在する施設景観」

景観評価を行う視点場の選定



①ダム近傍（ダム下流園地）

H30(2018).9.27撮影



ダム下流園地の視点場



ダム下流園地からの眺望

- ・ダム下流に広がる園地内園路より、ダムを正面から見るができる。
- ・視点場となる園路周辺は、「果実の丘」、「駐車場」等が整備されている。

①ダム近傍（管理支所）

H30(2018).9.27撮影



ダム管理支所の視点場



ダム管理支所からの眺望

- ・ダム堤頂、ダム左岸管理支所周辺、屋上の展望スペースより、ダム湖を臨むことができる。
- ・ベンチが設置されており、散策、休憩等に利用されている。

①ダム近傍(展望台)



- ・ダム右岸の展望台。
- ・ダムとダム湖を見下ろす。
- ・掘削法面は見えない。
- ・円筒型の取水塔や管理支所などの構造物が見える。
- ・展望台入口看板が整備されている。



②湖畔周辺地区(湖畔キャンプ場)



- ・水辺には人工砂浜が整備されている。
- ・湖岸からは対岸まで見渡すことができる。
- ・湖畔キャンプ場内には手すり、ベンチ、建屋等が整備されている。

②湖畔周辺地区(保養センター前)

H30(2018).9.27撮影



保養センターからの眺望



保養センターの視点場

- ・ 高台に位置している。
- ・ 湖畔道路、湖畔キャンプ場を挟んでかなやま湖を臨む。
- ・ 保養センター前の駐車場には、街路樹等の緑陰はない。
- ・ ポール等の垂直要素が見える。
- ・ 視点場となる保養センター付近は、サインや照明類などの構造物がある。



サイン・照明

視点場毎の景観評価

①ダム近傍



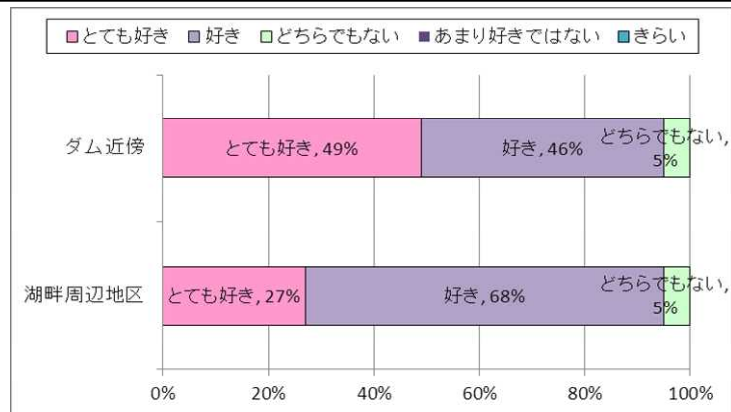
②湖畔周辺地区



※写真は全てH30(2018).9.27撮影

被験者の景観や雰囲気に対する評価及び意見

●「ここから見える景色や雰囲気は好きですか。」に対する回答の傾向



(資料：平成21年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」時における景観アンケート結果より)

●より良いダムの景観作りに向けた意見の内容

- ①ダム近傍
 - ・放水時間の情報がほしい。
 - ・シカの道路への飛び出し防止柵や注意の看板を設置してほしい。
- ②湖畔周辺地区
 - ・ボートの上げ下ろしを行う場所にも、水道、トイレを整備してほしい。
 - ・ボートの昇降場を整備してほしい。
 - ・レジャーボートとのエリア分けをしてほしい。
 - ・トイレが古いので新しくしてほしい。
 - ・施設を作りすぎない方がよい。

ダム周辺施設の景観

金山ダム周辺の施設について、展望台への入口看板は更新されているが、周辺の自然と調和した色彩となっていない施設（取水施設・橋）や老朽化している施設がみられる。



取水施設



鹿越大橋



湖名板



ダム下流の廃屋



5年前の状況



更新されている。



H30. 9. 27撮影

展望台への案内看板

◆景観のまとめ

項目	まとめ
ダム及び周辺の景観評価	<ul style="list-style-type: none"> ●ダム及び周辺の景観・雰囲気は、約9割の利用者が好意的に捉えている。 ●ダム周辺の優れた自然景観が、来訪者の魅力となっており、現状の豊かな景観について、「今のままの景観がよい」が最も多く、約6割を占めており、周辺の自然環境に調和したダム景観として捉えられている。

◆今後の方針

項目	方針
フォローアップによる継続的な確認	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者は金山ダム周辺の景観を良好なものとして捉えており、ダム湖利用実態調査の際に景観に関する調査を継続的に実施することで利用者意見を把握する。
景観に配慮した施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ●金山ダム管理施設の更新時に景観に配慮した整備を行う。また、経年劣化等により損傷が著しい周辺施設、現在利用されていない周辺施設は、施設管理者に今後の管理方法を確認する。 ●ダム及びダム周辺で統一したサイン整備、景観配慮を実施・継続するため、周辺施設の管理者と整備目的を共有した協力体制を構築し、サインシステム、景観デザインガイドラインの検討等を行う。
視点場のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ●視点場から良好な眺望が確保できるよう、関係機関と協力のうえ、除草や清掃等の維持管理を実施する。